

製剤種差検討会

「製剤設計における種差の問題検討会」

第8回 事例報告会

日時：2019年7月19日（金）13:00～17:45
会場：キャンパスプラザ京都

2016年4月に発足した製剤種差検討会での事例報告は今回で8回目を迎えました。62名が参加し、3例の事例報告と、経口剤・注射剤・外用剤の分野に分かれ少人数でのグループディスカッションも行われました。今回も非常に白熱した議論が交わされ、盛況のうちに会を終えることができました。



▲開会挨拶：菊池寛先生
(LTTバイオファーマ)



▲開会挨拶：原島秀吉先生
(北海道大学)



▲今井峻司先生
(日本新薬)

事例報告①

日本新薬：今井峻司先生

- ワックスゲルマトリックス顆粒徐放性製剤の開発

事例報告②

帝人ファーマ：中村秀昭先生

- 固体分散体製剤の経口吸収性における種差

事例報告③

神戸学院大学：鈴木亮佑先生

- マウス系統差がPEG修飾ナノ粒子体内動態に及ぼす影響

事例報告ファシリテーター、
総合討論進行役の先生方



▲中村秀昭先生
(帝人ファーマ)



▲鈴木亮佑先生
(神戸学院大学)



▲閉会挨拶：
山下伸二先生（摂南大学）

多くの参加者からの積極的な意見や質問で、活発に議論しました。



レイアウト：
辛島 正俊（武田薬品工業株式会社）
上林 敦（アステラス製薬株式会社）

京都銀ゆばにて情報
交換会も行いました
(参加者46名)。

